

服飾造形・実習Ⅰ

藤田 里恵・諸山 七生・佐々木 麗佳

アパレル技術科1年/高度アパレル専門科1年 通年 必修 (演習/実習・実技)

◆授業の方針・概要

パタンナーとしての実務経験を活かし、アパレル業界で行われている物作りの考え方や技術を取り入れ、技術、感性、素材の知識、副資材の知識などを学ぶ。

アイテムごとに、原型を中心とした平面製図、バランス感覚を養うトワールチェック、工業用パターン作成の為の修正、工業用の部分縫い、工業用パターンの作製、縫製、仕様書までと、一貫した工程の実習を行う。

◆到達目標（学修成果）

この授業で習得した技術と知識、人間の身体の特徴や動きを理解し、作品製作に必要な一貫した流れを身につけることを目標とする。検定対策を行い、各種検定の資格取得も目標とする。

◆卒業認定と該当授業科目の関連

必修科目であり、進級要件科目である。アパレル業界に必要なバランス感覚やパターン力、縫製の基礎が身につきます。

◆授業計画

週数	授業内容		準備学修	
	平面構成・実習Ⅰ	部分縫い	具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)
1週	基本スカート	各種の教科書、各種の用具、使い方についての説明	パッチポケット(裏無し)	教科書の準備 5分
2週		考え方と製図	ファスナー部分縫	復習：作業確認 60分
3週		トワール組み立て、工業用パターン作成	パッチポケット(裏付き)	予習：天竺にアイロン 復習：作業確認 150分
4週		スカートのバリエーション	シームポケット	予習：作業確認 復習：芯の選定・ノートに 説明内容をまとめる 40分
5週	ブラウス	身頃の名称、身頃原型について、ダーツのバリエーション		240分
6週		ブラウスの基本製図とシャツブラウスの製図、袖の基本、袖・衿のバリエーション	オープンカラー	予習：作業確認 復習：芯の選定・ノートに 説明内容をまとめる 60分
7週				60分
8週		トワール組み立て、工業用パターン作成 裁断、縫い方、縫製、仕様書作成	コンシール ファスナー付け	予習：天竺にアイロン 復習：作業確認 30分
9週				予習：縫製手順を確認 復習：提出日を守る 240分
10週	ワンピース	基本のワンピース製図、ワンピースのバリエーション、ワンピース市場調査、デザイン相談	短冊明き	予習：デザイン考案 縫製手順作成 30分
11週		各自のワンピース製図、トワール組み立て		予習：天竺にアイロン 復習：作業確認 30分
12週		裁断、縫い方、縫製、仕様書作成	袖口明き A スラッシュ明き 袖口明き B パイピング	予習：作業確認 復習：芯の選定・ノートに 説明内容をまとめる 提出日を守る 240分
13週				
14週	パンツ	考え方と製図 1/2	裏付きファスナー	予習：縫製手順を確認 復習：提出日を守る 60分
15週	スカート	集中縫製		60分
16週	ベスト	基本と製図	裏付きファスナー	60分
17週	ジャケット	基本の考え方と製図テーラカラーの製図 2枚袖の製図	ベンツ(薄地用)	復習：作業確認 60分
18週				予習：縫製手順を確認 60分
19週		半身頃ジャケットの裁断、縫製		復習：説明内容をまとめ 提出日を守る 120分
20週				
21週	コート	考え方と製図	コートのショール カラーと 比翼と箱ポケット	復習：作業確認
22週	試験対策	洋裁技術認定初級対策		復習：製図の練習 30分
23週	コート	各自デザインの製図、トワール組み立て、衿の展開		60分
24週				復習：作業確認 30分
25週	試験対策	洋裁技術認定初級対策		復習：製図の練習 30分
26週	コート			30分
27週		コート工業用パターン、コート裏地の展開説明		予習：縫製手順を確認 復習：作業確認 240分
28週		コート縫製		
29週				復習：提出日を守る 90分
30週	子供服	基本の考え方		復習：教科書を見直す 10分

【1】

◆フィードバックの方法

課題によるが、アイテムごとに評価・解説できるものは授業内で返却する。
作品は個別講評・採点後に返却する。
レポート等は、点検し返却する。

◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
試験	—
課題	70%
検定試験結果	—
企業評価(インターシップ)	—

・授業への取り組み、作品の完成度等により総合的に評価する。

・課題への取り組み、完成度、提出物の遅滞状況を総合的に評価する。

◆教科書

ドレメ式原型、基礎テキスト、PATTERN MAKING I II、SAWING I, II, III, IV、洋裁技術認定試験

◆参考文献

Doreme NEW PATTERN BOOK No.1, 2, 3, 4, 5, 6、ファッションビジネス I、パターンメイキング技術検定試験3級ガイドブック
Formal Wear RULE BOOK、

◆オフィスアワー

毎週：月曜日（15：30～16：30）1041 教室（本校舎4階）

◆備考

日程及び内容を変更することもある。

立体構成（ドレーピング&パターンメイキング）実習Ⅰ

藤田 里恵・佐々木 麗佳

アパレル技術科1年/高度アパレル専門科1年 年間10回 必修（実習・実技）

◆授業の方針・概要

担当教員が企業で身につけた、立体裁断の基礎理論を基に、工業用ボディーを使い直接布（天竺）をピンで止め、ゆとりを考えながら形を作り出す技法を学びます。服飾造形・実習Ⅰとの連携も行う。

◆到達目標（学修成果）

人体構造及び衣服の機能を理解し、あらゆる角度から見た衣服のバランスを確認し、立体上で表現する力や見る力を養うことを目標とする。

◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連

必修科目であり、進級要件科目である。服を作る上での感性を養うことに繋がります。

◆授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間（分）
1回	工業用ボディーについて/天竺のアイロンかけ方 バストラインとヒップラインの水平線の決め方	復習：ラインの水平を見る 天竺へのアイロンかけ	40分
2回	スカートのドレーピング	復習：体の構造を考え組み立てる	30分
3回	印のつけ方・組み立て方	予習：修正箇所を写し直して組む	20分
4回	身頃のドレーピング	復習：体の構造を考え組み立てる	30分
5回	身頃の印のつけ方・調整の仕方・AH	復習：修正箇所を写し直して組む	20分
6回	パターンの取り方・組み立て方	予習：パターンにとり修正する	50分
7回	修正の仕方	復習：修正箇所を写し直して組む	50分
8回	袖のドレーピング・印のつけ方	復習：身頃の形を考え組み立てる	30分
9回	パターンの取り方・組み立て方	復習：修正箇所を写し直して組む	50分
10回	スタンドカラー・ショールカラーのドレーピング	復習：衿を作る	60分

◆フィードバックの方法

授業内で課題を点検し、その場で学生に対して個別指導を行う。

◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
試験	—
課題	70%
検定試験結果	—
企業評価（インターシップ）	—

・授業への取り組み、作品の完成度等により総合的に評価する。

◆教科書

なし

◆参考文献

パターンメイキング技術検定試験3級ガイドブック

◆オフィスアワー

毎週：月曜日（15:30～16:30）1041 教室（本校舎4階）

◆備考

日程及び内容を変更することもある。

ファッション画Ⅰ

福地 宏子

アパレル技術科1年/高度アパレル専門科1年 通年 必修 (実習・実技)

◆授業の方針・概要

ファッションイメージを的確に表現し伝達するために、人体のプロポーション・服の構造・生地や素材・服の型のみを描く平絵の表現を学び、人体と服についての理解を深める。

◆到達目標（学修成果）

- ・基本のプロポーション（8頭身）にそって衣服を的確に描くことができる。
- ・服の構造、ディテール、素材表現等を修得できる。
- ・平絵を修得できる。

◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連

終了要件として必要な科目となり、服飾造形の基礎力の向上に資する科目。

◆授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)
1回	・教材、授業計画の確認 【人体のプロポーション①】	予習：各自教材の準備	10分
2回	【人体のプロポーション②】8頭身の人体プロポーション	復習：プロポーションの反復練習	60分
3回	【ポーズのバリエーション】重心移動のポーズ	復習：プロポーションの反復練習	60分
4回	【顔のプロポーション】基本のパーツの配置	復習：プロポーションの反復練習	60分
5回	【ヘアスタイル】着色表現も含む	予習：ヘアスタイルリサーチ	60分
6回	【平絵①】スカート（タイト・フレアー・ギャザー・プリーツ）	復習：反復練習	60分
7回	【平絵②】シャツ	復習：反復練習	60分
8回	【シャツ&スカートの着装①】人体への着装について	予習：デザインリサーチ、資料収集	60分
9回	【シャツ&スカートの着装②】平絵も含む	復習：作業確認、反復練習	60分
10回	【シャツ&スカートの着装③】	復習：作業確認、反復練習	60分
11回	【ディテール】衿・ネックライン・袖等の種類について	復習：反復練習	60分
12回	【ワンピースの着装①】ディテール表現・平絵も含む	予習：デザインリサーチ、資料収集	60分
13回	【ワンピースの着装②】	復習：作業確認、反復練習	60分
14回	【ワンピースの着装③】	復習：作業確認、反復練習	60分
15回	【柄と素材について①】画材を生かした表現法	復習：反復練習	60分
16回	【柄と素材について②】	復習：反復練習	60分
17回	【テーラードジャケットの着装①】構造・描写の説明、平絵も含む	予習：デザインリサーチ、資料収集	60分
18回	【テーラードジャケットの着装②】	復習：反復練習	60分
19回	【テーラードジャケットの着装③】	復習：作業確認、反復練習	60分
20回	【コートの着装①】生地の表現・平絵も含む	予習：デザインリサーチ、資料収集	60分
21回	【コートの着装②】	復習：作業確認、反復練習	60分
22回	【コートの着装③】	復習：作業確認、反復練習	60分
23回	【メンズファッション①】プロポーションと着装について	予習：デザインリサーチ、資料収集	60分
24回	【メンズファッション②】	復習：作業確認、反復練習	60分
25回	【子供服①】プロポーションと着装について	予習：デザインリサーチ、資料収集	60分
26回	【子供服②】	復習：作業確認、反復練習	60分
27回	【シーンに合わせたファッション提案①】	予習：課題進行の準備、資料収集	60分
28回	【シーンに合わせたファッション提案②】	予習：課題進行の準備	60分
29回	【シーンに合わせたファッション提案③】	復習：提案内容を振り返る	60分
30回	・まとめ、合評会	復習：課題を振り返る	60分

◆フィードバックの方法

各課題にはコメントやアドバイス等を記入し、振り返りができるようにする。または直接コメントを伝える。課題によっては、返却時にクラスメイトの課題を観覧する時間を設けて、意見交換やアドバイスを行う。

◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
試験	—
課題	70%
検定試験結果	—
企業評価(インターシップ)	—

◆教科書

必要に応じてプリントを配布

◆参考文献

必要に応じて適宜紹介する

◆オフィスアワー

第1回目の授業時に指示する

◆備考

進度により授業計画が変更になる場合もある

クリエイティブデザイン／クリエイティブデザインⅠ

渡邊 千佳子

アパレル技術科 1年／高度アパレル専門科 1年 年間 10回 必修 (実習・実技)

◆授業の方針・概要

ファッション業界のあらゆる職種にも通ずるよう、ファッションデザインを紐解くことから始める。
2年次でのデザイン創作への架け橋となるよう、色々な事を吸収する授業とする。

◆到達目標（学修成果）

ファッション全般を具体的に知ることで創造性を身につける。

◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連

卒業のために必要な科目である。発想力を付ける、広げることに重点を置きその力を服飾造形へと結びつける。

◆授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)
1回	クリエイティブデザインについて、ファッションイメージとは	復習：ファッション誌で確認	30分
2回	シルエットの研究	復習：〃	30分
3回	アイテムの研究	復習：〃	30分
4回	民族衣裳について ～世界地図を作ろう～	復習：〃	30分
5回	〃	復習：〃	30分
6回	〃	復習：マップの整理	30分
7回	刺繍①	復習：他のグループの作品を見る	30分
8回	刺繍②	復習：図書館で資料探し	30分
9回	刺繍③	〃	30分
10回	まとめ	〃	30分

◆フィードバックの方法

課題返却時に講評を行う

◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
試験	—
課題	70%
検定試験結果	—
企業評価（インターンシップ）	—

◆教科書

プリントの配布

◆参考文献

図解服飾用語辞典 ファッション誌

◆オフィスアワー

毎週：月曜日 15：30～16：30 第5校舎 5302教室

◆備考

授業内容は変更することもある

アパレルCG I

地代 紀子

服飾造形科1年/ファッションビジネス科1年 年間20回 必修 (演習)

◆授業の方針・概要

グラフィックデザイナーとして、多種の印刷物やウェブ制作等の実務経験を活かし、実践で役立つ大事なポイントを押さえ、やさしい操作から徐々にステップアップする流れとなっている。

ファッション業界の現場はもちろんのこと、様々な業務で一般的に使われているグラフィックソフト、Illustrator・Photoshopを使い、目的に応じたイメージを、的確で洗練されたデザインとして表現できる技術の基礎を学ぶ。

◆到達目標 (学修成果)

Illustrator・Photoshopの基本操作と相互の活用を覚え、一つのデザインとして完成させる力をつける。

◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連

必修科目のため、1年次修了に必要な科目。

Illustrator・Photoshopを効果的に使い、業務をスムーズに進めるためのスキルが身につく。

◆授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)
1回	オリエンテーション Illustrator オブジェクトとパス 基本操作	予習：教科書を確認	15
2回	Illustrator ペンツール ベジエ曲線	予習：教科書を確認	15
3回	〃 ハンガーイラスト (平絵) ①/スカート	予習：教科書を確認	15
4回	〃 ハンガーイラスト (平絵) ②/シャツ	予習：教科書を確認	15
5回	Photoshop 写真と画像 (解像度・保存形式) 基本操作	予習：教科書を確認	15
6回	〃 画像の補正 色調補正 調整レイヤー	予習：教科書を確認	15
7回	〃 レタッチ 切り抜き	予習：教科書を確認	15
8回	Illustrator 写真の配置・マスク カラーを操作する機能	予習：教科書を確認	15
9回	Tシャツデザイン①/資料集め デザインを考案・作成	復習：データ整理・確認	15
10回	〃 ②/デザイン作成 まとめ ★提出	復習：データ整理・確認	15
11回	Photoshop 選択ツール①/レイヤー	予習・復習：教科書を確認	15
12回	〃 選択ツール②/アルファチャンネル	予習・復習：教科書を確認	15
13回	〃 写真の切り抜き 写真の合成コラージュ	予習・復習：教科書を確認	15
14回	Illustrator 文字を操作する機能	予習・復習：教科書を確認	15
15回	グリーティングカード①/デザインを考案・作成	復習：データ整理・確認	15
16回	〃 ②/まとめ ★提出	復習：データ整理・確認	15
17回	イメージボード①/資料集め デザイン・コンセプトを考案	復習：データ整理・確認	15
18回	〃 ②/各素材の作成・加工 レイアウト	復習：データ整理・確認	15
19回	〃 ③/レイアウト まとめ ★提出	復習：データ整理・確認	15
20回	ペンタブの操作 各種ブラシで自由にドローイング	復習：データ整理・確認	15

◆フィードバックの方法

授業内での質問に随時対応する。

作品は個別に講評し、フィードバックする。

◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
試験	—
課題	70%
検定試験結果	—
企業評価(インターシップ)	—

・授業態度、提出物の遅滞、作品完成度等を総合的に評価する。

◆教科書

Photoshop しっかり入門、Illustrator しっかり入門

◆参考文献

なし

◆オフィスアワー

授業終了後、質問等に対応する。

◆備考

日程及び授業内容は変更することもある。

アパレルCAD I

中根 歩

アパレル技術科1年/高度アパレル専門科1年 後期 必修 (演習)

◆授業の方針・概要

アパレルCADは、パタンナーはもちろんのことデザイナーや縫製士にとっても非常に身近なツールであり、就職後に即戦力として活躍するために必要不可欠なスキルです。企業パタンナー/フリーランスパタンナーとしての経験、また、服飾造形講師/CAD講師としての経験の双方を活かし、造形とCADの相互学習を意識した実践的な演習を行います。

◆到達目標(学修成果)

アパレルCAD 東レ クレアコンポを用いたパターンメイキングの基本操作の習得を目標とします。

◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連

2年次に進級するための必要な科目。

パタンナー (デザイナー、縫製士) としてアパレルCADのオペレーション方法を理解するための科目。

◆授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)
1回	東レ クレアコンポ システムの説明/RDBの説明	復習：RDB データ読み込みまでを覚える	10分
2回	パターンマジックの基本操作1/線・ノッチ作成/応用作図機能	復習：授業内で使用したメニューを覚える	20分
3回	パターンマジックの基本操作2/計測・合わせ・線のカット	復習：授業内で使用したメニューを覚える	20分
4回	パターンマジックの基本操作3/図形カット・当てはめ	復習：授業内で使用したメニューを覚える	20分
5回	パターンマジックの基本操作4/線の変更・調整/回転・展開・反転	復習：授業内で使用したメニューを覚える	20分
6回	ドレメ原型作図	予習：ドレメ原型の作図手順を確認	30分
7回	ブラウス後身頃製図	予習：ブラウスの身頃作図手順を確認	30分
8回	ブラウス前身頃製図	予習：ブラウスの身頃作図手順を確認	30分
9回	ブラウス袖製図	予習：ブラウスの袖作図手順を確認	20分
10回	ブラウス衿製図	予習：ブラウスの衿作図手順を確認	20分
11回	ステッチ線作成/ボタン作成/文字入力/パターン記号	予習：工業用パターン下準備の手順を確認	20分
12回	基本操作確認の為の小テスト	予習：今までに学習した基本操作を確認	30分
13回	工業用パターン作成/パーツ化・パーツ情報入力	予習：工業用パターン下準備の手順を確認	20分
14回	工業用パターン作成/縫い代付け	予習：縫い代付けの手順を確認	30分
15回	工業用パターン作成/プロット出力設定	復習：プロッターの使い方を覚える	20分

◆フィードバック方法

授業内で不明点がある場合、その場で個人指導を行う。

◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
試験	—
課題	70%
検定試験結果	—
企業計画 (インターシップ)	—

◆教科書

授業に合わせてプリントを配布する。

◆参考文献

CREA COMPO オペレーションマニュアル Toray Advanced Computer Solution INC
パターンメイキング技術検定試験ガイドブック 財団法人日本ファッション教育振興協会

◆オフィスアワー

授業終了後に質疑応答の時間を設ける。

◆備考

授業内容は変更することもある。

アパレル素材論／アパレル素材論Ⅰ

赤澤 結花

服飾造形科1年／ファッションビジネス科1年／アパレル技術科1年／高度アパレル専門科1年 通年 必修（講義）

◆授業の方針・概要

天然繊維を中心に繊維が糸になり、布になっていくプロセスとベーシックなファブリックの知識を学ぶ。アパレル業界で働く上で必須とされる素材に関する知識は、興味を持ってこそ身につくという考えの下、特に「見ること」と「触れること」に重点を置いた授業内容になっている。繊維サンプルを配布し、その素材に触れながら構造や特徴を学ぶ。そしてその繊維と人の歴史的背景を紐解き、その繊維に関連したビデオを見ることで、より具体的な知識を深める。また、テキスタイルファブリックについてはスワッチサンプルを手に、その布としての特徴や組成、組織について学んでいく。更に時代のニーズとともに新しく開発されていく素材の動向の情報も織り交ぜる。

◆到達目標（学修成果）

アパレル素材の基本的な知識を身につける。

◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連

卒業のために必要な科目。アパレル業界のどの職種においても必要となるスキルを養うことに繋がる。

◆授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)
1回	オリエンテーション	復習：ノートを見直す	10
2回	繊維の分類	予習：教科書の分類表を見る	10
3回	綿の歴史	復習：ノートを見直す	10
4回	綿繊維の構造と特徴	復習：ノートを見直す	10
5回	「 Cottonの神秘」(ビデオ)、綿の種類	復習：ノートを見直す	10
6回	紡績工程	復習：ノートを見直す	10
7回	糸について	復習：ノートを見直す	10
8回	生地について スワッチの配布	復習：スワッチの確認をする	10
9回	生地の説明	復習：テキストの説明を読む	5
10回	〃	復習：テキストの説明を読む	5
11回	麻の繊維(ラミーとリネン)	復習：ノートを見直す	10
12回	全体の復習	復習：ノートを見直す	10
13回	まとめ	予習：今までの復習をしておく	15
14回	羊毛の歴史	復習：ノートを見直す	10
15回	羊毛繊維の構造と特徴	復習：ノートを見直す	10
16回	「ウールの長い旅」(ビデオ)、梳毛と紡毛について	復習：ノートを見直す	10
17回	生地について スワッチの配布	復習：スワッチの確認をする	10
18回	生地の説明	復習：テキストの説明を読む	10
19回	〃	復習：テキストの説明を読む	10
20回	その他の獣毛繊維	復習：テキストの説明を読む	10
21回	〃	復習：ノートを見直す	10
22回	フェルトの実習(3回通し)	復習：フェルト玉等を作ってみる	30
23回			
24回			
25回	絹の歴史	復習：ノートを見直す	10
26回	絹繊維の構造と特徴 糸について	復習：ノートを見直す	10
27回	生地について スワッチの配布	復習：スワッチの確認をする	10
28回	生地の説明	復習：テキストの説明を読む	5
29回	全体の復習	復習：ノートを見直す	10
30回	まとめ	予習：指定のスワッチを覚える	30

◆フィードバックの方法

筆記テスト終了後、内容の解説をする。

◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
試験	70%
課題	—
検定試験結果	—
企業評価(インターシップ)	—

◆教科書

アパレル素材の基本 鈴木美和子・窪田英男・徳武正人著 織研新聞社

◆参考文献

テキスタイル用語辞典 成田典子著 (株) テキスタイル・ツリー

◆オフィスアワー

毎週：月曜日(16時00分～17時00分) 5201教室(第5校舎2階)

◆備考

授業内容は変更することもある。

服装史

小寺 和果

服飾造形科1年/ファッションビジネス科1年/アパレル技術科1年/高度アパレル専門科1年 年間8回 必修 (講義)

◆授業の方針・概要

私たちの身の回りのファッションは、長い歴史の積み重ねの上に成り立っています。

現在 Y2K ファッションがリバイバルしているように、常に歴史に大きく影響されながら発展を遂げるのです。

本授業では古代から現代までの服装の変遷について西洋を中心に概説し、服を取りまく人々の文化にも着目します。

多くの画像資料を鑑賞しながら、歴史上の様々な服装がなぜ生まれ、どのように変化したのか、背景にはどのような美意識・ルール・社会情勢があったのか、など考えながら学んでいきましょう。

配布するノート用プリントに授業内容のメモに加えて自身の考えを書き込み、毎授業終了時に提出することを課題とします。

◆到達目標 (学修成果)

各時代のファッションとその意味を知ること、現代においてファッションがいかなるものであるかを考えるために必要な考え方を養います。また、製作や企画などファッションに関わるあらゆる場面において、歴史からアイデアのヒントを得ることができるようになります。

◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連

1年生の必修科目です。今後展開される発展的な学びの下地となる基礎知識を身につけます。

服そのものを見るだけでなく、幅広い視野をもって学習することが重要です。

◆授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)
1回	イントロダクション、古代の服飾 エジプト、ギリシャ、ローマ	プリントの確認 (紹介文献を読む)	30分
2回	中世の服飾 (14-16世紀) 色彩表現の変化、誇張と変形	プリントの確認 (紹介文献を読む)	30分
3回	17-18世紀の服飾 (バロック、ロココ) フランスの宮廷服	プリントの確認 (紹介文献を読む)	30分
4回	19世紀の服飾 (ロマン主義、アール・ヌーヴォー) モード産業の確立	プリントの確認 (紹介文献を読む)	30分
5回	現代服への移行 (20世紀前半) ポール・ポワレ、ココ・シャネル、エルザ・スカパレリ	プリントの確認 (紹介文献を読む)	30分
6回	戦後のモード クリスチャン・ディオール、イヴ・サンローラン	プリントの確認 (紹介文献を読む)	30分
7回	ファッションの多様化 ジャン＝ポール・ゴルティエ、川久保玲、ヴィヴィアン・ウエストウッド	プリントの確認 (紹介文献を読む)	30分
8回	現代のモード	プリントの確認 (紹介文献を読む)	30分

◆フィードバックの方法

毎回の授業で記入・提出するノート用プリントについては、適宜評価をつけて返却します。

◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
試験	—
課題	70%
検定試験結果	—
企業評価(インターシップ)	—

◆教科書

特になし (配布プリントあり)

◆参考文献

DK社『FASHION 世界服飾大図鑑』河出書房新社, 2020

深井晃子『一増補新装カラー版—世界服飾史』美術出版社, 2020 など

その他の文献に関しても、必要に応じて授業内で紹介します。

◆オフィスアワー

連絡先: 教務課 (本校舎1階)

授業終了後、質問など対応いたします。

◆備考

授業進度によって内容を変更する場合があります。

色彩論／色彩論Ⅰ

桑野 恵美

服飾造形科1年／ファッションビジネス科1年／アパレル技術科1年／高度アパレル専門科1年 年間8回 必修（講義）

◆授業の方針・概要

仕事で「色」を活かすために重要となる「色を見分ける力」「配色力」「色の説明力」を養うための色の基本を理解する。本授業ではファッション色彩能力検定3級受験を前提とし、教科書である『ファッション色彩Ⅰ』に沿って授業を進める。講義の他、実際に配色カードを使用してカラーワークも行い、色感アップと色の基本知識の習得を目指す。

◆到達目標（学修成果）

ファッション色彩能力検定試験3級合格。
身の周りにあるたくさんの色の効果を学び、実感することで、個々の活動の中で、感性だけに頼らない色の使い方を知る。また2年次以降に取得を目差す『ファッション色彩能力検定試験2級』に向けた色彩基礎力を築く。

◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連

必修科目であり、進級要件である。服飾に関わる様々な分野（造形・デザイン・ビジネス等）において、目的や状況に応じた“色”を提案するための基礎を習得する。

◆授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)
1回	ガイダンス/概論（生活の中における色彩の働き） 色の三属性	復習：問題集の該当箇所の学習。 ツールの作成（カラーワーク）	90分
2回	色相環・トーン一覧表作成 ヒュー&トーン	復習：問題集の該当箇所の学習。	90分
3回	色の成り立ち/光と色 配色①(色相配色)	復習：問題集の該当箇所の学習。	90分
4回	混色/色覚と色 配色②（トーン配色）	復習：問題集の該当箇所の学習。	90分
5回	色彩心理（対比/同化）グラデーション	復習：問題集の該当箇所の学習。	90分
6回	色彩の技術 アクセントセパレーション （色相とトーン、無彩色と柄・無地の配色、色彩構成のテクニック）	復習：問題集の該当箇所の学習。	90分
7回	ファッション産業と色彩	復習：問題集の該当箇所の学習。過去問題を解く。	90分
8回	過去問題のフィードバック/総復習	総復習	90分

◆フィードバックの方法

過去問題はポイント箇所を中心に解説を行います。問題集は、必要であれば解説を行います。全体に向けての講評とカラーワークの課題にコメントを入れて返却します。（提出課題のみ）

◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
試験	—
課題	30%
検定試験結果	40%
企業評価(インターシップ)	—

◆教科書

ファッション色彩 [1] 財団法人 日本ファッション教育振興協会発行
ファッション色彩能力検定試験3級問題集 財団法人 日本ファッション教育振興協会発行
その他：日本色研 JIS 対応ベーシックカラー140 B 6（配色カード）

◆参考文献：適宜アナウンスします。

◆オフィスアワー：授業初回にアナウンスします

◆備考：教科書、問題集、配色カード、はさみ、のりは毎回、準備してください。 各回の授業の順番・内容は変更になる場合があります。

ファッションビジネス概論

福田 宜央

服飾造形科1年/ファッションビジネス科1年/アパレル技術科1年/高度アパレル専門科1年 年間10回 必修(講義)

◆授業の方針・概要

(株)サンエー・インターナショナル(現(株)T S I)でのマーチャンダイザーや海外事業運営の経験を基に、アパレル企業で行われる業務事例を踏まえながら概況を解説し、商品計画立案から販売までのマーチャンダイジングをどのように行うか、ブランドビジネスの運営方法や基本的なビジネス数字について学び、ファッションビジネスの基礎知識を修得する授業とする。

◆到達目標(学修成果)

授業を通してファッションビジネスの全体像や流れ、基礎的な専門用語や商品展開の仕組みの大枠について理解する事を目標とする。実際に販売されているアパレル商品は、どのようにして計画され、どのような過程を経て展開されているか、商品展開方法やブランド運営の知識が修得できる。また、将来就業時に必要となるビジネスに関する数字やデータ項目の基本を学習した上で、仕入から販売、利益の関係に至るまで、ビジネスに必須な基礎知識として理解できるようになる。

◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連

卒業のために必要な科目となる。将来ファッションビジネスに関わる就業を目標に、2年次に進級してより高度な専門性を学ぶために必要なアパレル業界の基礎用語や仕組みについて、1年次に基本的な専門知識を理解・修得して基礎力をつける。

◆授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)
1回	・ファッションビジネスの仕組み	復習：授業のまとめ	10分
2回	・商品展開のプロセス	復習：前回授業概要	10分
3回	・シーズンの設定と運営の事例、振り返りチェック (Part I)	復習：前回授業概要	10分
4回	・ビジネスに必要な分析項目	復習：前回授業概要	10分
5回	・販売計画から利益まで	復習：前回授業概要	10分
6回	・ファッションビジネスの予算と支出、振り返りチェック (Part II)	復習：前回授業概要	10分
7回	・ブランド運営について	復習：前回授業概要	10分
8回	・MDプランから商品化に至るまで	復習：前回授業概要	10分
9回	・計画と実績の確認、振り返りチェック (Part III)	復習：前回授業概要	10分
10回	・年次振り返り、総まとめ		

◆フィードバックの方法

Part I、II、IIIのテーマ終わりの授業毎に実施する振り返りチェックの解説を次回授業で行う。

◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	20%	
試験	20%	年度末最終授業にて総まとめテストを実施
課題	60%	理解度確認：振り返りチェックシート提出(3回)
検定試験結果	—	
企業評価(インターシップ)	—	

◆教科書

なし。
授業毎に応じたプリントを配布。

◆参考文献

なし。

◆オフィスアワー

授業終了後、質問等に対応する。

◆備考

日程及び授業内容は変更することもある。

リサーチ&プレゼンテーション

福田 宜央

アパレル技術科1年/高度アパレル専門科1年 年間10回 必修(演習)

◆授業の方針・概要

(株)サンエー・インターナショナル(現(株)T S I)でのマーチャンダイザーや海外事業運営の経験を基に、アパレル企業が業務で行うマーケットリサーチ(市場調査)、レポートや資料の作成、それを伝達するプレゼンテーションの方法を解説し、リサーチ情報のまとめから対外的にプレゼンテーションを実際に体感して学ぶ演習授業とする。造形授業の課題制作前に店頭リサーチを行い、マーケットのトレンドも確認しながらリサーチ情報をまとめ、パワーポイント(PPT)を使用してレポートを作成、概要の伝達をプレゼンテーションで発表する方法を学ぶ。

◆到達目標(学修成果)

授業を通して実際に販売されているアパレル商品をリサーチし、その情報を分析・考察して伝達したいポイントをレポートにまとめていくスキルと、対外的に発表を行うことでプレゼンテーションの基礎力を体得することを目標とする。レポート作成時にはPPTの基礎的な機能や操作方法を理解して、要点をまとめた簡易な資料作成もできるようになる。

◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連

卒業のために必要な科目となる。また、卒業後の就業に関わる面接時や、就業してからの資料作成や報告など、今後必要となる表現手段の基礎力を身に付ける。

◆授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)
1回	オリエンテーション・ガイダンス/次回解説 アイテムリサーチ: シャツ	復習: 授業のまとめ	10分
2回	マーケットリサーチ実施①(仮: ラフォーレ原宿)	復習: 前回授業概要	10分
3回	レポート作成とまとめ/提出	復習: 前回授業概要	10分
4回	プレゼンテーション/次回解説 アイテムリサーチ: ワンピース	復習: 前回授業概要	10分
5回	マーケットリサーチ実施②(仮: SHIBUYA109 渋谷)	復習: 前回授業概要	10分
6回	PPT実習①: レポート作成とまとめ/提出	復習: 前回授業概要	10分
7回	プレゼンテーション/次回グループワーク解説 アイテムリサーチ: ジャケット	復習: 前回授業概要	10分
8回	グループワーク/業態別リサーチ実施(ファストファッション・専門店)	復習: 前回授業概要	10分
9回	グループワーク/PPT実習②: レポート作成とまとめ	復習: 前回授業概要	10分
10回	プレゼンテーション(グループ発表)/総括	復習: 前回授業概要	10分

◆フィードバック方法

プレゼンテーション発表時と採点後のレポート返却にて、内容に応じた要点を踏まえてコメントにてフィードバックを行う。

◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
試験	
課題(レポート・発表含む)	70%
検定試験結果	
企業計画(インターシップ)	

◆教科書

なし。
授業毎に応じたプリント等を配布。

◆参考文献

なし。

◆オフィスアワー

授業終了後、質問等に対応する。

◆備考

日程及び授業内容は変更することもある。

特別講義 I

藤田 里恵・佐々木 麗佳

アパレル技術科 1年 / 高度アパレル専門科 年間 8回 必修 (講義)

◆**授業の方針・概要**

現場で活躍するスペシャリストの講義など、常に最新の技術や知識を学ぶことを目標とする。
アパレル業界の流れ、ファッションビジネス、クリエイション、テキスタイルなどの基本的なことから始まり、通常授業と連動しながらアパレル企業の現場を実感できる内容である。

◆**到達目標 (学修成果)**

学校内だけでは学べない現状を知り、企業におけるマナーや知識を身につけられる。

◆**卒業認定の方針と該当授業科目の関連**

必修科目であり、1年次修了に必要な科目。アパレル業界を知るために必要な授業である。

◆**授業計画**

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)
1回	WWDトレンドセミナー	先生により各回違う。 準備等ある場合は事前に知らせる。	
2回	「人はなぜ、学び、働くのか」「ファッションビジネスとは何か」の視聴		
3回	下着について		
4回	アパレル業界について		
5回	アメリカの最新事情		
6回	NEWYORK COLLECTION TRENDセミナー		
7回	ウールと環境について		
8回	知的所有権について		

◆**フィードバックの方法**

各講義のレポート等は、担当教員が点検・返却する。

◆**成績評価の方法・基準**

授業態度・姿勢	30%
試験	—
課題	70%
検定試験結果	—
企業評価(インターシップ)	—

・学習態度(出席状況を含む)、レポート等を総合的に評価する。

◆**教科書**

必要に応じて資料を配布

◆**参考文献**

なし

◆**オフィスアワー**

授業終了後、質問等に対応する。

◆**備考**

外部講師による授業なので、内容や時間等は、先生により変更がある。

文章表現

伊藤 高広

高度アパレル専門科1年 年間8回 必修（講義）

◆授業の方針・概要

自分の判断や意見、発想などを相手に伝えるためには、わかりやすい文章を書かなければなりません。ワークシートや文章作成などで、そのための練習をします。2年次以降の、レポート・論文執筆のための基礎的訓練でもあります。また、さまざまな文章を読み、そこから正しい情報を読み取る練習もします。

◆到達目標（学修成果）

文章表現の基礎を身につけ、自分の考えを相手にうまく伝えることができるようになる。様々なメディアの情報を読み解き、判断できる能力を養う。

◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連

必修科目で、卒業に必要な科目です。社会人としての資質・能力を養います。

◆授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回	ガイダンス～作文の基礎	予習：シラバスに目を通しておく。	30分
	作文：説明文を書く 3段落構成で説明的文章を書く	復習：課題として取り上げた事柄について情報を収集し、知識を深める。	30分
2回	作文：前回の直し	復習：添削された原稿を見直す。	30分
	練習：作文の基礎 文章の構成を意識する	復習：課題として取り上げた事柄について情報を収集し、知識を深める。	30分
3回	練習：作文の基礎 文の決まり事	復習：自分の書いた文章を見直す。	30分
	作文：自分の考えを表現する 根拠を明確にする 新聞の記事を参考に、自分の意見を書く	復習：課題として取り上げた事柄について書籍やwebなどを利用して情報を収集する。	60分
4回	作文：自分の考えを表現する 根拠を明確にする 前回の直し	復習：添削された原稿を見直す。	30分
	練習：文章の要約 考える道筋を意識する 意見と感想の違いを意識する。	復習：課題として取り上げた事柄について書籍やwebなどを利用して知識を深める。	30分
5回	作文：情報を読み解いて文章にまとめる① 文章やデータを正確に読み取る。	復習：課題として取り上げた事柄について、情報を整理してまとめる。	30分
	情報倫理について考える	復習：課題として取り上げた事柄について、情報を整理してまとめる。	30分
6回	作文：情報を読み解いて文章にまとめる① 前回の直し	復習：添削された文章を見直す。	30分
	練習：文章の要約 複数の資料を参考に、情報を正確に把握する。	課題として取り上げた事柄について、情報を整理してまとめる。	30分
7回	作文：情報を読み解いて文章にまとめる② 複数の視点から情報を読み、自分の意見をまとめる。	復習：情報を整理してまとめ、課題を発見する。	30分
	ディスカッションを通して複眼的な読み取りができるようにする。	復習：情報を整理してまとめ、課題を発見する。	30分
8回	作文：情報を読み解いて文章にまとめる② 前回の直しと全体のまとめ。	復習：全体を振り返り、自分の課題点を認識する。	60分

◆フィードバックの方法

提出された課題は次時添削して返却。清書して提出、次時添削・評価して返却。

◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
試験	—
課題	70%
検定試験結果	—
企業計画（インターシップ）	—

◆教科書

毎時、新聞記事等を資料として配布する

◆参考文献

授業中に適宜紹介する

◆オフィスアワー

月曜 12:30～13:30（前期）金曜 12:30～13:30（後期）文章表現研究室（研究棟1階）

◆備考

原稿用紙・ノート・ファイルを用意しておくこと

ファッション実用英語

北澤 茉奈

服飾造形科1年/ファッションビジネス科1年/アパレル技術科1年 前期 選択(講義) / 高度アパレル専門科1年 前期 必修(講義)

◆授業の方針・概要

本コースは、ファッション・デザインを学ぶ学習者のために英語学習内容を服飾分野に定め、服飾分野での英語でのコミュニケーションに役立つように構成されています。ネットニュースなど最新のファッション関連記事を扱い、語学としての英語と、服飾関連の知識の両方にフォーカスします。毎回の授業では、記事の内容把握に関する問題に取り組んでもらいます。また、ファッションに関連する動画の視聴によるリスニング練習、自己紹介発表による英語でのプレゼンテーションの練習も行います。

◆到達目標(学修成果)

ファッションに関する基本的な英単語や用語、ファッションに関する会話のパターンを知り使用できるようになる。英語で書かれた記事の内容を理解し自分の言葉で説明できるようになる。映像と関連させながら聞こえてくる英語の内容を理解できるようになる。以上を目標とします。

◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連

一般科目として、必修2単位(高度アパレル専門科)、または選択2単位(服飾造形科・ファッションビジネス科・アパレル技術科)となっている。

◆授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)
1回	イントロダクション 課題の詳細説明	予習: シラバスを読む。授業内容について確認する。	20分
2回	自己紹介発表準備 服飾関連記事の読解(1)、ファッション関連動画の視聴と書き取り	予習: 記事に目を通す。 復習: クイズの解答に関する部分の振り返り	30分
3回	自己紹介発表(1) 服飾関連記事の読解(2)、ファッション関連動画の視聴と書き取り	予習: クイズ、発表の準備 復習: クイズの解答に関する部分の振り返り	30分
4回	自己紹介発表(2) 服飾関連記事の読解(3)、ファッション関連動画の視聴と書き取り	予習: クイズ、発表の準備 復習: クイズの解答に関する部分の振り返り	30分
5回	自己紹介発表(3) 服飾関連記事の読解(4)、ファッション関連動画の視聴と書き取り	予習: クイズ、発表の準備 復習: クイズの解答に関する部分の振り返り	30分
6回	自己紹介発表(4) 服飾関連記事の読解(5)、ファッション関連動画の視聴と書き取り	予習: クイズ、発表の準備 復習: クイズの解答に関する部分の振り返り	30分
7回	自己紹介発表(5) 服飾関連記事の読解(6)、ファッション関連動画の視聴と書き取り	予習: クイズ、発表の準備 復習: クイズの解答に関する部分の振り返り	30分
8回	自己紹介発表(6) 服飾関連記事の読解(7)、ファッション関連動画の視聴と書き取り	予習: クイズ、発表の準備 復習: クイズの解答に関する部分の振り返り	30分
9回	自己紹介発表(7) 服飾関連記事の読解(8)、ファッション関連動画の視聴と書き取り	予習: クイズ、発表の準備 復習: クイズの解答に関する部分の振り返り	30分
10回	自己紹介発表(8) 服飾関連記事の読解(9)、ファッション関連動画の視聴と書き取り	予習: クイズ、発表の準備 復習: クイズの解答に関する部分の振り返り	30分
11回	自己紹介発表(9) 服飾関連記事の読解(10)、ファッション関連動画の視聴と書き取り	予習: クイズ、発表の準備 復習: クイズの解答に関する部分の振り返り	30分
12回	自己紹介発表(10) 服飾関連記事の読解(11)、ファッション関連動画の視聴と書き取り	予習: クイズ、発表の準備 復習: クイズの解答に関する部分の振り返り	30分
13回	自己紹介発表(11) 服飾関連記事の読解(12)、ファッション関連動画の視聴と書き取り	予習: クイズ、発表の準備 復習: クイズの解答に関する部分の振り返り	30分
14回	まとめ	予習: これまでの授業内容を振り返る。	30分
15回	講評	復習: これまでの授業内容を振り返る。	30分

◆フィードバックの方法

クイズの解答はその場で提出してもらいます。解答は皆で共有し授業内でフィードバックを行います。まとめのテストは採点します。

◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%	毎回のクイズ、書き取り練習の解答の提出
試験	30%	
課題	40%	プレゼンテーション
検定試験結果	—	
企業評価(インターシップ)	—	

◆教科書

プリントを配布します。

◆参考文献

必要に応じて授業内で配布。

◆オフィスアワー

第1回の授業で指示。オフィスは、杉野服飾大学英語研究室(研究棟3階)

◆備考

授業内容は変更することもある。